

令和5年度における 市町村等の取組状況



水防災意識社会
再構築ビジョン

目次

京都市（総合防災訓練の実施、継続的な取組）	2
宇治市（防災訓練の実施、防災シンポジウムの開催、その他の取組）	3
亀岡市（防災士養成事業の実施、こども防災士養成事業の実施）	4
城陽市（まるごとまちごとハザードマップ（浸水深表示板）を新規に設置）	6
向日市（出前授業の実施）	7
長岡京市（マイ・タイムラインの作成キット及び解説動画を作成、水害等避難行動タイムラインの作成支援）	8
八幡市（水害等避難行動タイムラインの作成、水害へ対応するための避難訓練の実施）	9
京田辺市（まるごとまちごとハザードマップの設置）	11
南丹市（タイムラインの作成講習）	12
木津川市（水害等避難行動タイムライン及び災害・避難カードの作成他）	13
大山崎町（令和5年度防災伝道師養成講座）	16
久御山町（まるごとまちごとハザードマップの作成、タイムラインの作成について）	17
宇治田原町（防災訓練の実施、継続した取組、その他）	19
笠置町（町内自主防災組織と笠置町の共催による防災訓練の実施）	20
和束町（地域防災計画の見直し、自主防災組織の活動）	21
精華町（「マイ防災マップ」の作成・訓練実施、自主防災会の結成に向けた講演）	22
南山城村（水害危険地区の自主防災組織と消防団の連携による訓練他）	24

京都市の取組状況について

■①総合防災訓練の実施

○概要

京都市地域防災計画の基本理念に基づき、**防災関係機関と京都市との緊密な連携による総合防災訓練及び市民の防災意識向上を目指した啓発**を実施

○実施内容

大規模災害対応訓練：関係機関と京都市が連携した災害対応訓練
(被害情報収集訓練、救出救助訓練、ライフライン復旧訓練等)

市民防災啓発：ブース展示による防災啓発

(防災気象情報展示、備蓄展示、起震車による地震体験等)

○訓練参加団体

京都市防災会議構成機関等

■②継続的な取組

○水害、地震などの大規模災害時に即応できる体制の維持及び市民の防災意識の向上を目指し、引き続き総合防災訓練を実施

○自主防災組織活動助成金による防災訓練等の実施費用の補助等



建設局による道路啓開訓練



自衛隊による倒壊建物救出訓練



水防団による水防工法の展示



大阪ガスネットワークによる
ガス復旧訓練



災害備蓄展示、アルファ化米炊き出し
マイ・タイムラインの説明

宇治市の取組状況について

①防災訓練の実施(宇治市主催)

- ・浸水想定区域内の住民による避難訓練
- ・災害時地域タイムラインの周知(啓発ブース・チラシ配布)
⇒災害時地域タイムライン作成への取組
- ・災害対策本部会議運用訓練
- ・防災関係機関との実働救助訓練
- ・災害時協定団体との連携確認
⇒災害時初動対応・役割の確認
- ・避難所開設訓練(自主防災リーダーフォローアップ研修)
- ・参加市民による各種体験(土のう作成・避難所体験等)
⇒災害時における市民連携確認

②防災シンポジウムの開催

- テーマ「若年層の参画」
大学との連携・・・京都大学防災研究所・京都文教大学
教育との連携・・・中学校の土曜参観とコミュニティスクールとの
タイアップ
- 【子供たちの発表】
- ・防災備蓄品の共同使用の意識を日頃から
 - ・共助の重要性
 - ・大切な人を守るための備えとは
 - ・災害への備えと家族としてのペットの避難準備
 - ・知ることの大切さと普段の生活の中で取り入れられそうな防災の紹介
 - ・地域再発見と中学生ができる地域への提案(還元)
 - ・防災おにぎりの試食
⇒若年層の地域防災への参画
⇒新たな地域防災の担い手との連携(親世代)

③その他の取組

- ・防災学習(宇治学)への取組(延べ20回・約2,000人へのアプローチ)⇒若年層の地域防災への参画
- ・防災出前講座(66回・約3,000人へのアプローチ)⇒災害時における市民連携確認
- ・中学生と地域住民による危険箇所パトロール⇒若年層の地域防災への参画・災害時における市民連携確認



■ 亀岡市防災士養成事業の実施

活動報告

- 亀岡市では、地域住民の先頭に立つ防災スキルを持った市民防災リーダーを養成するため、京都府内の自治体として初めて日本防災士機構から研修実施機関としての認証を取得し、市独自で防災士資格取得者を増加させる「亀岡市防災士養成事業」を令和4年度から実施しております。
- 事業を実施した結果、市内在住・在勤の防災士数について、事業実施前(令和4年5月末時点)の68名から事業実施後(令和6年2月末時点)の174名まで増加させることができました。

令和5年度亀岡市防災士養成事業

実施日	令和5年11月11日(土)・12日(日)
場 所	亀岡市役所 市民ホール
参加者	・49名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の防災士養成プログラムを実施(講義+演習 計9講目) ・2日間のカリキュラム内で普通救命講習を実施



講座の様子



普通救命講習の様子

亀岡市の取組状況について(2/2)

■ 亀岡市こども防災士養成事業の実施

活動報告

- 亀岡市では、児童や生徒など、次代の地域防災を担う若年層の防災意識の向上を目指すことを目的として、令和4年度から「亀岡市こども防災士養成事業」を実施しております。
- 事業を実施した結果、従来は防災訓練や防災研修などに参加する機会の少なかった児童・生徒などの若年層や、子育て世代である保護者について、防災イベントに参加してもらうことができました。

令和5年度こども防災士養成事業

実施日	令和5年11月23日(木)
実施場所	1 特定非営利活動法人 阿武山・防災サイエンスミュージアム 2 高槻市摂津峡公園青少年キャンプ場
参加者	小学4年生～6年生の児童22名
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の仕組みを知る (阿武山地震観測所の施設見学と学習会) ・ペットボトル地震計の製作 ・「防災キャンプ」(災害食の体験) ・「防災サバイバル」(ロープワーク体験) ・「VR防災トレーニング」(VR防災体験)



城陽市の取組状況について

■ まるごとまちごとハザードマップ(浸水深表示板)を新規に設置

活動報告

- 市内の浸水想定区域内にある指定緊急避難場所等への設置は完了しているが、令和5年度、新たに市役所庁舎、浸水想定区域内の駅、水害時の避難経路等、計29箇所浸水深表示板を設置しました。

市役所庁舎への
設置状況



駅への
設置状況



電柱への
設置状況



向日市の取組状況について

■出前授業の実施

活動報告

●市内の小学校及び高等学校において、向日市の防災についての出前授業や防災拠点の見学を行いました。

<出前授業参加人数>

令和5年	521名
令和4年	912名

防災拠点の見学



能登半島地震報告
(出前授業)



向日市の防災について

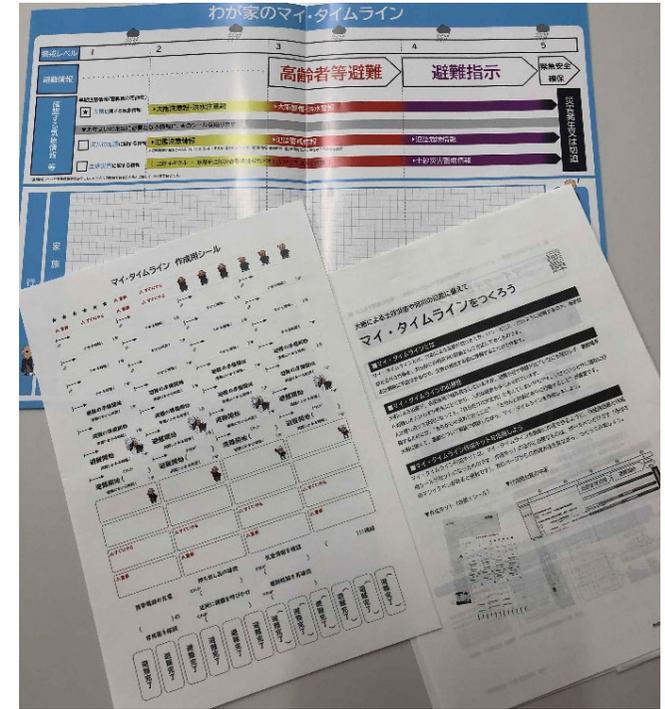


長岡京市の取組状況について

■マイ・タイムラインの作成キット及び解説動画を作成

活動報告

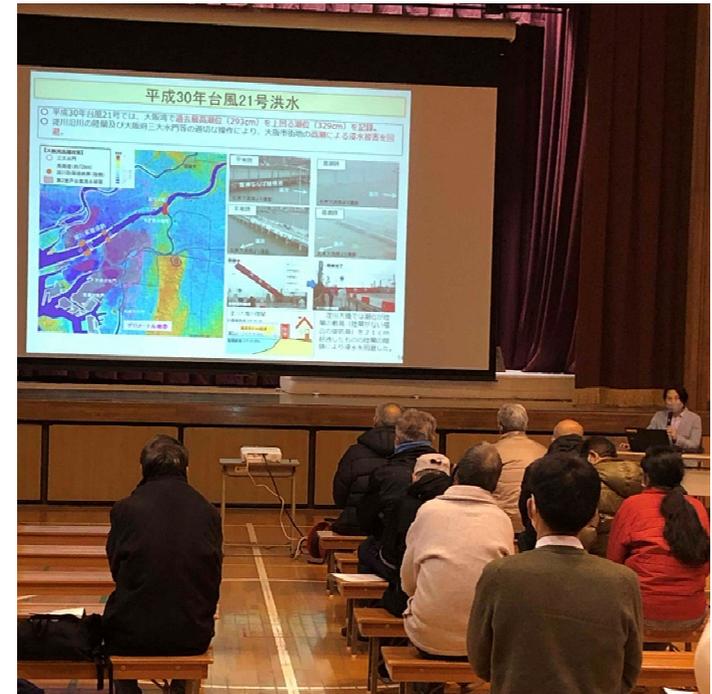
- 「マイ・タイムライン」作成を支援するためのツールを令和3年度に作成
- 令和4年度はより多くの人々の目に触れること、水害等のリスクの高くないエリアの人にも作ってもらうことを目的にホームページへ作成様式を掲載
- 作成方法などがイメージしやすいように動画を作成し、各家庭にて作成を促進しています。
(これまで21地域の内、8地域で作成済み)



■水害等避難行動タイムラインの作成支援

活動報告

- 「水害等避難行動タイムライン」作成支援対象地域(水害・土砂災害のリスクの高い地域)に対して、出前ミーティング等で作成の意義や作成体験など実施しました。
- そのうちの一つは小学校区単位での取組により、市、淀川河川事務所、京都府が派遣された防災士による講演を行いました。今後各自治会単位でのタイムライン作成を促進していきます。
(これまで21地域の内、17地域で作成済み)

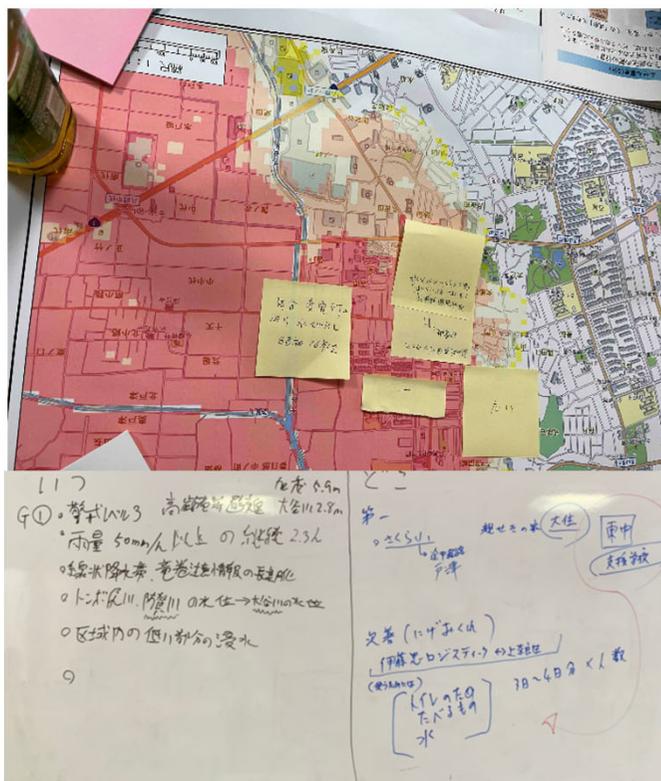


八幡市の取組状況について(1/2)

■ 水害等避難行動タイムラインの作成

● 「水害等避難行動タイムライン」・・・京都府が府内の水害及び土砂災害の危険性がある地域の自主防災組織等に作成を推進しているタイムライン

- 出前講座等により、自治会ごとに「水害等避難行動タイムライン」作成のためのワークショップを実施しました。
- 令和5年度は、市内2地域において、計3回のワークショップを実施し、2つの自治会でタイムラインを作成しました。
(これまでに計11の自治会で作成済みであり、浸水想定区域の人口カバー率79.7%)



活動報告

活動の効果

- 地域住民が水害について考えることによる避難行動への意識付け及び逃げ遅れへの対策
- 市内の浸水及び土砂災害の可能性のある他地域への波及
- 自治会等でのタイムライン作成により、個人のタイムライン「マイタイムライン」の作成推進につなげる

時期	場所	内容
【浸水】 7月12日、7月28日	上奈良公会堂	木津川氾濫時に浸水の可能性がある地域及び土砂災害警戒区域等がある地域において、自治会の水害時における避難行動タイムライン作成のための説明会及びワークショップを実施
3月30日	六区公会堂	

八幡市の取組状況について(2/2)

■水害へ対応するための避難訓練の実施(八幡市第三区)

活動報告

- 八幡市第三区自治会は、令和5年12月10日水害に対応するための避難訓練を実施しました。
- 令和3年度に水害等避難行動タイムラインを策定後はじめての避難訓練の実施であり、京都京阪バス(株)とは、本市としても初の住民参加の協同訓練となりました。

徒歩による避難



京都京阪バス(株)による避難支援



ローソン八幡吉野店から男山三中への避難

男山三中における避難所施設の取扱い方法の研修



活動の効果

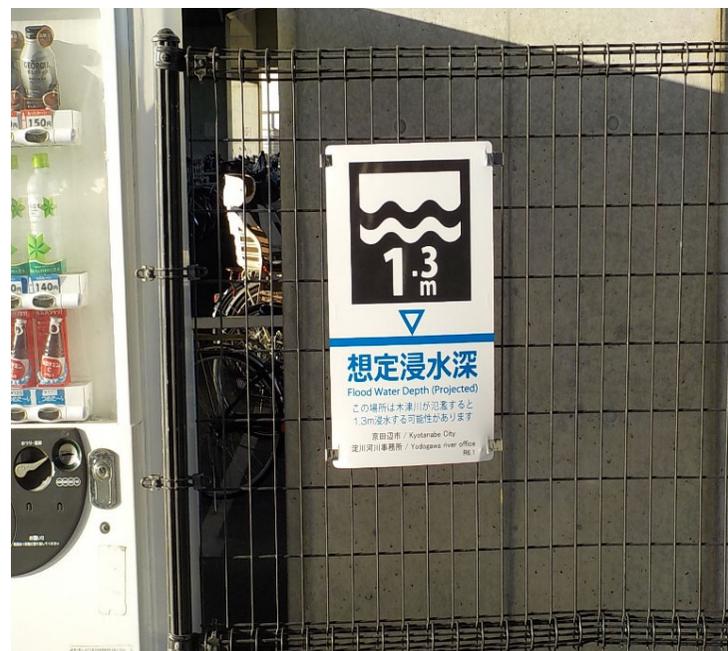
- 平時から住民等の水害への意識を高めるとともに、京都京阪バス(株)と本市との連携を図ることができた。
- 八幡市第三区においては、災害時の連絡体制の見直しを図ることができた。
(ブロック割の導入により区長からの情報が速やかに区民へ連絡できるようになった)

京田辺市の取組状況について

■まるごとまちごとハザードマップの設置

活動報告

- 近鉄三山木駅、宮津駅周辺にそれぞれ2箇所ずつ設置しました。これにより、市内設置箇所が計23箇所になりました。
- 駅周辺への設置は今回が初であり、平時から目に触れやすい箇所に設置することで、より多くの方が地域の水害リスクを把握することができ、発災時の避難行動を促すことができます。



市内設置箇所

- ・電柱: 14箇所
- ・小中学校: 3箇所
- ・公民館周辺: 3箇所
- ・住民センター: 1箇所
- ・公園内柱: 1箇所
- ・駐輪場: 1箇所

南丹市の取組状況について

■タイムラインの作成講習

報告活動

●令和5年11月に、自主防災組織代表者を参集し、水害等避難の行動タイムライン講習会を開催いたしました。

期日	場 所	内 容
11月18日	南丹市役所 美山支所 1階 大会議室	住民避難が円滑に行われるようにする きっかけの1つとして「タイムライン」の作 成及び活用を市民の皆様にご提供いた さし、防災意識の高揚を図った。 ユーチューブ動画(QRコード)で、市民 への共有を行い、タイムライン作成率の 向上を図っている。
11月19日	南丹市役所 本庁2号庁舎 3階 301会議室	

ユーチューブ動画



木津川市の取組状況について(1/3)

■水害等避難行動タイムライン及び災害・避難カードの作成

●「水害等避難行動タイムライン」

水害及び土砂災害の危険性がある地域の自主防災組織等が作成

活動報告

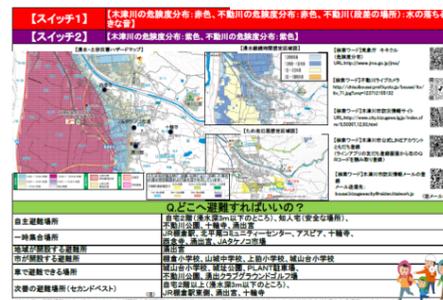
- 出前講座方式により、各自主防災組織ごとに「水害等避難行動タイムライン」及び「災害・避難カード」の作成を支援し、説明会及びワークショップ等を実施
- 令和5年度は、市内4地域において、計12回の説明会、ワークショップを実施し、タイムライン及び災害・避難カードを作成



第1回WS説明会（北平尾地域自主防災会）



第2回WS説明会（兎並区自主防災会）



活動の効果

- 地域住民が水害・土砂災害リスクを考え、避難行動への意識付けと逃げ遅れ対策
- 市内の水害・土砂災害のリスクのある他地域への波及（R6年度以降も継続）
- 自主防災組織の対応をもとに、各自治会等での災害時の対応について検討を深めるとともに、我が家の「災害・避難カード」の作成に寄与

木津川市の取組状況について(2/3)

■地域防災リーダーによるマイタイムラインの作成支援(指導)体制の構築

- 目的 地域防災力の向上
- 開始 令和4年6月1日に「木津川市地域防災リーダー」制度創設

活動報告

- 経緯 令和2年度から防災士養成講座により年間約50名の防災士を育成中【現在、191名】
- 木津川市地域防災リーダーの役割 自主防災組織等との連携の他に、マイタイムライン作成支援(指導)としての役割を付加
- 現状 令和5年度末現在で、49名が木津川市地域防災リーダーに登録
令和6年3月開催の「防災について学ぶ会」において、地域と防災リーダー等との連携強化を図るとともに、国交省の支援を受け「マイタイムライン」の作成要領を学び、普及に向け取り組んでいます。



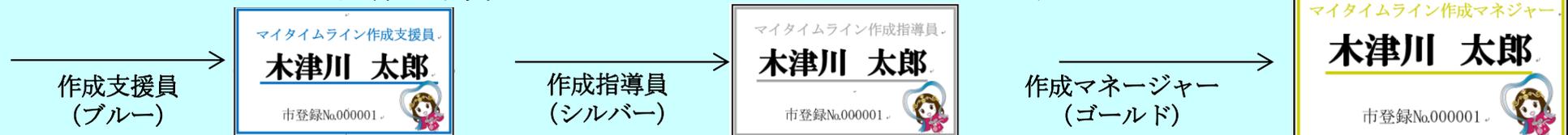
全国自主防災リーダー研修参加者による研修会参加報告



国土交通省による「マイタイムライン」作成講習

活動の効果

- 地域の自主防災組織と防災リーダー、防災士との顔合わせができ、今後の連携につながった。
- 「マイタイムライン」作成要領を体験し、今後、地域での普及を期待できる。



■まるごとまちごとハザードマップの設置

活動報告

- 浸水深の表示方法を工夫した事例として、まるごとまちごとハザードマップ～取り組み事例集～に掲載されました。



加茂支所前



加茂小学校前



上狛小学校前



JR棚倉駅前

活動の効果

- これまで木津地域のみでの設置であったが、加茂地域と山城地域に設置できた。
- 地域のみならず各小中学校付近に設置することにより、児童・生徒の洪水への関心が向上した。

令和5年度防災伝道師養成講座

活動報告

本町では、防災に関する一般的な知識を習得し、「自助」「共助」の重要性を地域に広め、広く防災活動の活性化に寄与する人材として、「防災伝道師」を養成する講座を実施。

時期	場所	内容
令和6年2月18日	大山崎町立中央公民館	<p>(講義内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所による講義 →水害の脅威や、防災対策についての講義を実施 ・日本防災士会京都府支部による講義 →水害対象地区ごとに、地図を使用した地域の危険箇所や避難場所等の確認 →水害、土砂災害の避難情報が発令された際の避難行動のための「災害・避難カード」を作成



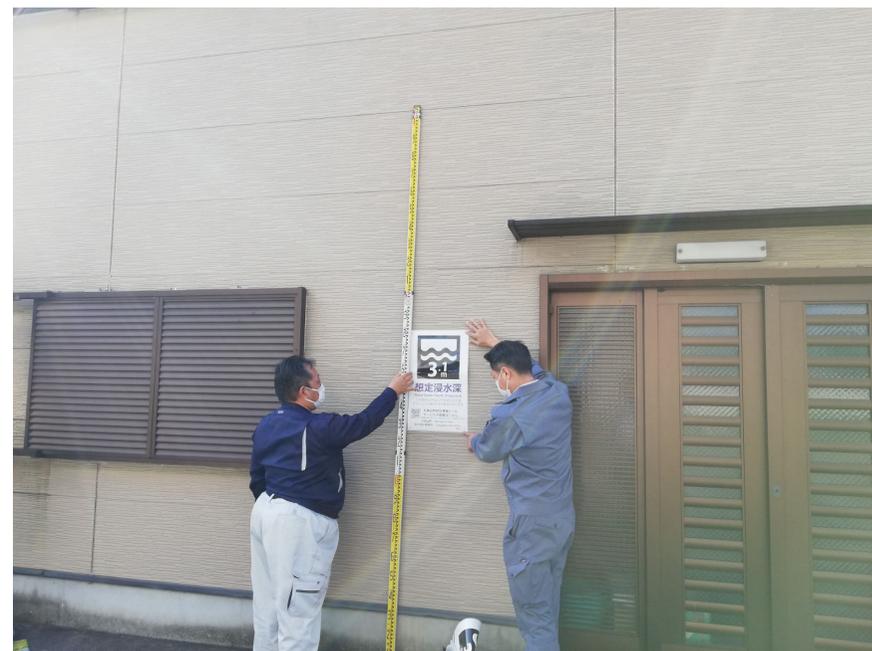
久御山町の取組状況について(1/2)

■まるごとまちごとハザードマップの作成

活動報告

本町は、木津川、宇治川、桂川に挟まれた山城盆地の低い場所にあり、町内のほぼ全域が浸水想定区域内となっていることから、住民の方に水害の意識を常日頃から持ってもらうために、まるごとまちごとハザードマップの設置促進を図っている。

現在は公共施設をはじめ、自治会等の要望により集会所等、住民の目にとまる場所など計41カ所に設置している。



■タイムラインの作成について

活動報告

自治会や自主防災会のリーダーを対象に、自主防災リーダー研修会を実施し、水害等避難行動タイムライン「災害・避難カード」の作成方法等について説明しました。



■①防災訓練の実施

宇治田原町が主催する大規模な防災訓練を4年ぶりに実施

- ・避難所開設訓練
- ・災害協定団体との救援物資等搬送訓練 等

■②継続した取組

自主防災組織への支援

- ・自主防災組織安心安全活動補助金(防災訓練の実施等にかかる費用の一部補助)
- ・防災講話

■③その他

防災マップ(洪水・土砂災害)を更新

- ・洪水浸水想定区域の対象河川やため池のハザード情報の追加

防災講演会を実施

- ・災害伝承10年プロジェクト(消防庁事業)を活用(R4)

※語り部による東日本大震災の体験談等

笠置町の取組状況について

■ 町内自主防災組織と笠置町の共催による防災訓練の実施

活動報告

- 笠置町内で初発足した自主防災組織と共催による防災訓練を実施
- 訓練内で消防署や郵便局と連携することで自主防の認知や連携強化が図られた
- 日本防災士会京都府支部長から激励メッセージを頂戴するなどモチベーションの向上に寄与
- 組織発足：令和5年8月、防災訓練：令和5年11月5日（日）9時00分～12時00分



初期消火訓練



給食給水訓練

【訓練内容】

- 初期消火訓練
- 情報伝達訓練
- 給食給水訓練
- 救出救助訓練
- 防災知識醸成訓練



救出救助訓練



知識醸成訓練

【参加者】

- ・ 自主防：17名
- ・ 郵便局：1名
- ・ 消防署：4名
- ・ 役場：6名
- 合計：28名

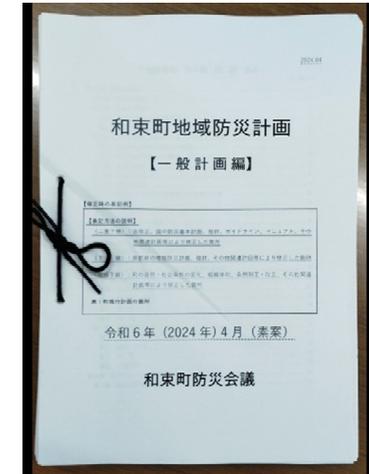
和東町の取組状況について

■和東町地域防災計画の見直し

(和東町地域防災計画素案)

報
告

●和東町地域防災計画は、和東町防災会議が定める風水害対策に係る総合的かつ基本的な計画であり、町民の生命財産等を風水害、その他大規模な災害および事故から保護し、被害の軽減を図ることを目的として平成31年4月に策定されましたが、関係法令等の修正により、本町計画にも反映させるため、令和6年1月から改訂業務に着手しており、令和6年8月までに策定することを目標としています。



■自主防災組織の活動

報
告

●木屋地区、南地区の2地区で自主防災組織として活動されています。河川(消防水利)の草刈りや防災用品の配布、避難経路の確認点検など活動されました。

また、令和6年4月に新たに自主防災組織(園消防団OB会)が結成されています。

防災知識の普及・啓発、災害危険個所の把握、防災訓練など活動に取り組んでいただくこととなります。

精華町の取組状況について(1/2)

■「マイ防災マップ」の作成・訓練実施

活動報告

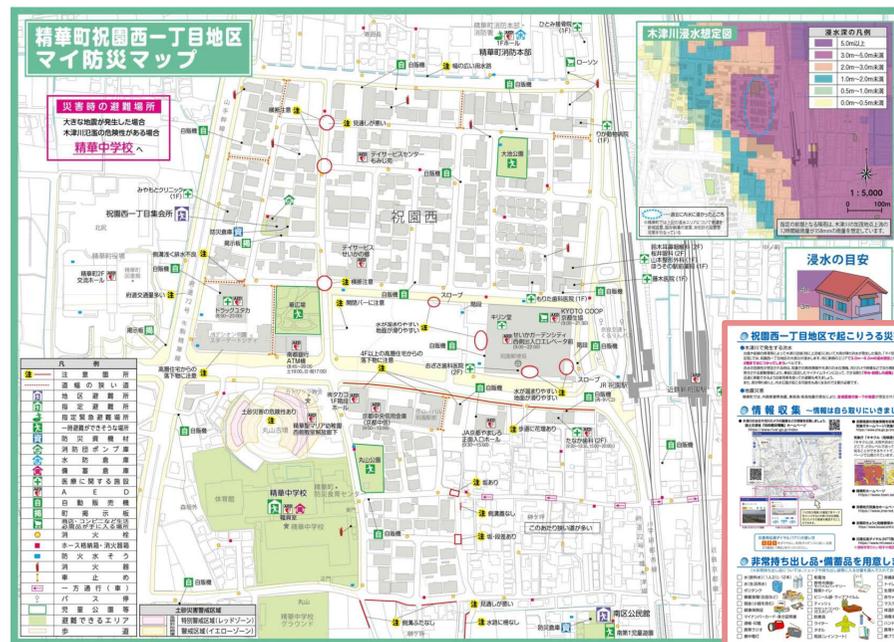
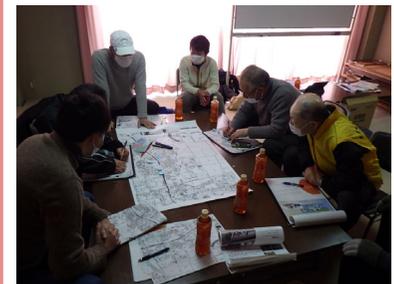
- 説明会・街歩き
 - ・マイ防災マップの作成趣旨、活用方法等を説明
 - ・地域の自主防災会を中心に住んでいる地域の危険箇所確認を実施
 - ・水害想定での避難訓練を実施し、避難経路の危険箇所を確認
- 「災害・避難カード」を裏面に記載
 - ・災害時の安全な避難のタイミングを確認
 - ・地域住民による協力体制の必要性を説明

令和4年度までに作成済

8地区(浸水想定地区7地区、土砂災害警戒地区1地区)

令和5年度 実施地区

3地区(祝園西一丁目(訓練実施地区)、中、西北)

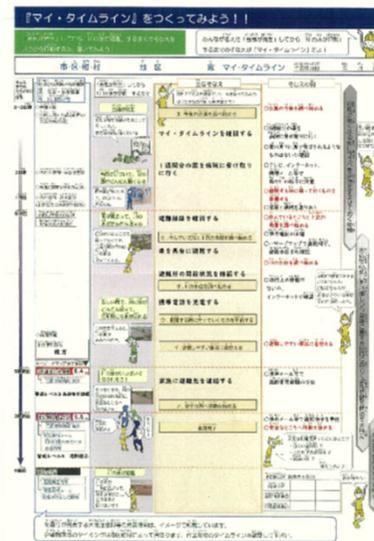
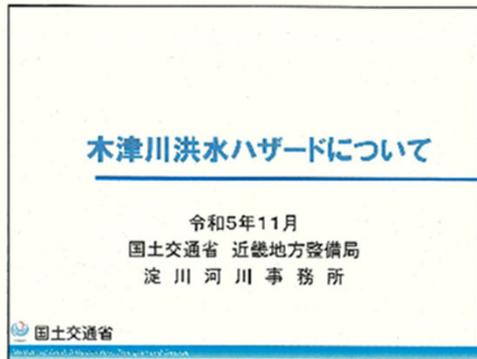
精華町の取組状況について(2/2)

■ 自主防災会の結成に向けた講演

活動報告

- 自主防災会の未結成地区に対する講演
 - ・ 淀川河川事務所から講演「木津川洪水ハザードについて」
 - ・ 精華町「自主防災組織について」説明

令和5年度までの結成数	35地区(42自治会のうち)
令和5年度 結成地区	2地区(祝園西一丁目、旭)
未結成地区	5地区(結成に向けた説明等を実施予定)



危機管理課 防災資料

1. 防災に
2. 災害想定(地震・風水害)
 1) 地震想定
 生駒新幹線による最大地震想定一帯域予
 人的被害 被害数 150人
 負傷者数 3,200人
 短期避難者数 11,400人
 全壊 2,700棟
 半壊被害 220棟
 (近畿府県防災計画委員会による)
- 2) 風水害想定(浸水・土砂災害)
 淀川水系本河川 加茂地土災害域の12時間総雨量35.8mm
 区域(内)には、約3,500世帯・12,000人
 (家府県等(北河想定区域)
 (近畿府県防災計画委員会による)
3. 日頃の備え
 1) 家・屋敷の安全点検
 2) 日用品と非常持ち出し品(3日間のびる用)
 * コーキングシートの貼付
 * 自身の薬とメガネ(若しくは老眼鏡)
 3) 避難経路と避難所・避難場所
 * 避難経路等の確認を
 * 避難所の運営マニュアルの必要性

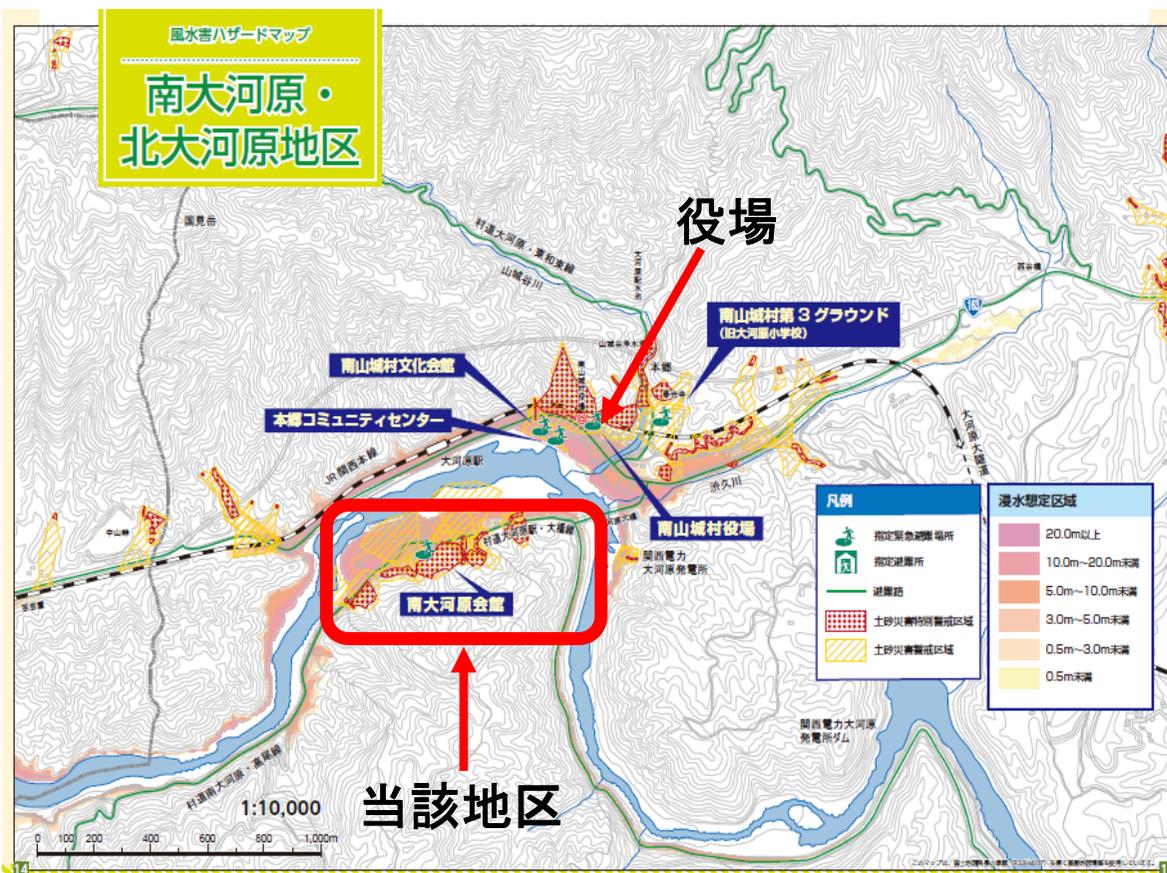


南山城村の取組状況について(1/2)

■ 水害危険地区の自主防災組織と消防団の連携による訓練

活動報告

- 令和6年2月25日に木津川河川沿いの地区である「南大河原地区」において、ハザードマップ等を活用し、自主防災組織や消防団、地域住民による災害時の行動の確認や対策についての訓練を実施した。計32名の参加があり、個別避難計画の説明や、水害時の行動等について確認した。



南山城村の取組状況について(2/2)

■2023南山城村防災フェスタによる昭和28年水害記録の展示

活動報告

- 南山城村と自主防災組織や消防団が主催する「防災フェスタ」において、地域住民有志による「28災70周年展示会実行委員会」が防災フェスタ会場内で、昭和28年山城水害での村内の被害状況や当時の被災者の声を集めた展示を行った。



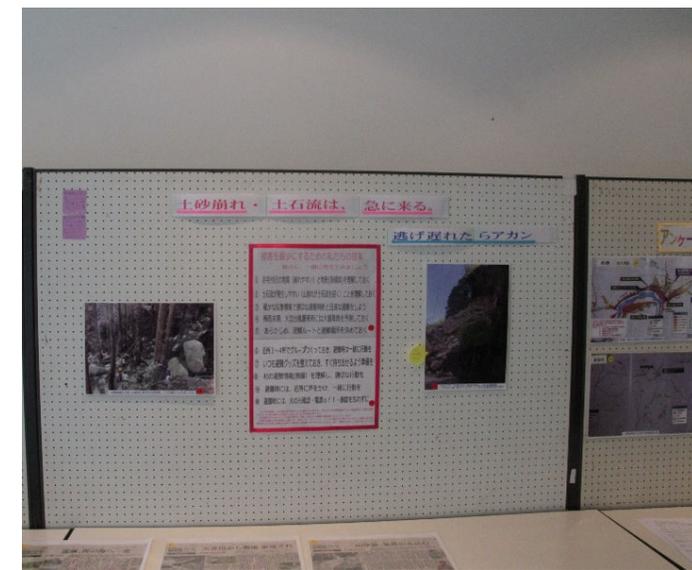
2023
南山城村防災フェスタ
令和5年12月2日(土)
午後1時30分～午後3時30分
場所:やまなみホール周辺
はしご車も登場予定!!

<p>やまなみホール</p> <p>★停電時の電力復旧情報等の講演</p>	<p>やまなみホールホワイエ</p> <p>★水害パネル展示 ★フローン展示</p>
<p>やまなみホール駐車場</p> <p>★炊飯車体験 ★消防車両、自衛隊車両等展示 ★消火器訓練 ★自衛隊等装備品展示</p>	<p>やまなみホール研修室</p> <p>★防災用品展示 ★非常食の配布 ★耐震相談会</p>

みんなで支え、助け合い、地域の安心・安全を守るためには
自助、共助、公助の取り組みを推進し、誰もが災害について学び
大地震など、もしもの災害に備えましょう

主催:南山城村・南山城村自主防災組織連絡協議会・南山城村消防団
協力:京都市府・陸上自衛隊大久保駐屯地・相楽中部消防組合消防本部・関西電力送配電課
(株)キタモリ・(株)ビーシー販売・(株)中央商工・28 災 70 周年展示会実行委員会

お問い合わせ:南山城村総務財政課 ☎0743-93-0102
※気象状況や災害等の発生状況によって中止若しくは、一部中止などイベント内容の変更が生じる場合があります



- 様々な防災関係者や地域住民が防災学習を通じて、それぞれの立場や役割、過去の災害記録を学ぶことで自助の意識の構築に努めた。
なお、水害写真の記録展示は防災フェスタの開催日(12/2)から1週間展示を継続し、延べ200人以上が訪れた。